

## 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	みんなで支える里山整備事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
		実施期間	H20～	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp
区分	求められる機能に応じた里山等の森林づくりの推進、間伐材等の利活用による継続的な森林づくりの推進				
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト				
施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり ,3 多様な森林の整備の促進 ,4 多様な関わりによる森林の適正管理と多面的利用の推進				

## 1 事業の概要

内容	これまで整備が進めにくかった集落周辺の里山等の機能回復を重点的に進めるため、森林税による財源を活用し、地域をあげて間伐を面的に推進する。
----	--

## 2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	集落周辺の森林及び水源を保全するための森林等で、市町村が必要と認める森林において行う間伐と当該間伐材の搬出	市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等	間伐面積 1,782ha 搬出材積 9,613m <sup>3</sup>	556,542,900円 [401,843,900円]

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(繰越)	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越	0	0	141,790	38,783	255,491	321,508	757,572
当初予算		542,300	744,090	856,840	690,180	684,020	0	3,517,430	
補正予算		399,554	22,378	0	-87,143	-61,460	0	273,329	
合計(A)		941,854	766,468	998,630	641,820	878,051	321,508	4,548,331	
Aの財源	森林税	505,854	440,230	589,520	417,233	614,906	213,062	2,780,805	
	国庫支出金	436,000	326,238	409,110	224,587	263,145	108,446	1,767,526	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	
決算額(B)		941,854	624,678	514,079	386,328	556,543		3,023,482	
次年度への繰越額(外数)		0	141,790	38,783	255,491	321,508	-	757,572	

## 指標及びその達成状況

成果目標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(繰越)	合計(累計)	備考	
間伐面積	目標値	3,000ha	3,000ha	3,000ha	3,000(2,500)ha	3,000(2,300)ha	-	15,000(13,800)ha	( )は実行性を重視し当年度に設定した値
	実績値	2,000m <sup>3</sup>	3,000m <sup>3</sup>	4,000m <sup>3</sup>	5,000m <sup>3</sup>	6,000m <sup>3</sup>	-	20,000m <sup>3</sup>	
間伐材搬出材積	目標値	3,282ha	2,113ha	1,853ha	1,319ha	1,782ha	1,110ha	11,459ha	
	実績値	1,225m <sup>3</sup>	2,152m <sup>3</sup>	2,442m <sup>3</sup>	1,470m <sup>3</sup>	9,613m <sup>3</sup>	2,100m <sup>3</sup>	19,002m <sup>3</sup>	

目標に対する成果の状況	(達成状況) 1,782haの間伐を実施し、里山林の機能回復に一定の成果を上げることができたが、国の制度変更や、森林所有者の不在村化や境界の不明瞭化等、条件困難な箇所が多かったことなどにより、目標には達しなかった(間伐面積 77%)。 なお、10月の台風や前線の影響による多雨により、一部箇所(1,110ha)が平成30年度に繰越となっており、これを含めると2,892haとなる。一方、間伐材の搬出については、要件緩和により、前年と比較し大幅に間伐材の利用を進めることができた(搬出材積 160%)。  (副次的な効果)
-------------	---

県民会議・地域会議等からの意見	森林税で実施してきた事業は、よくやってきたと思っている。間伐に関しては、今後も続けていくことが大切と思っている。(上伊那地域会議) 災害に強い林を造るため、里山の定義をある程度明確にし、その中でも集落に近い危険な箇所を中心に整備することが必要ではないか。(北信地域会議)
-----------------	--

## 3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学的知見に基づき分析した結果、防災・減災の観点から整備の必要性が高い箇所が判明している。</li> <li>森林と地域との関係性を再生し、自立的・持続的な長野県独自の森林管理を構築していくことが必要。</li> </ul>	未整備で残る里山のうち危険性の高い箇所を絞り込み間伐を実施するとともに、住民協働による多面的な里山の整備・利活用を進めることで、森林と地域との関係性を再生し、自立的・持続的な森林管理を推進する。

森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	地域で進める里山集約化事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	H20～H29	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
区分					
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト					
施策の総合的展開	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 事業の概要

内容	小規模個人有林が多く、荒廃が進んでいる里山の森林整備を進めるため、区や集落などの地域が主体となり、里山整備計画の樹立や森林所有者の同意を得る活動を支援する。
----	--

2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	里山整備計画の樹立と森林所有者から森林整備の同意を得る活動に対し助成	自治会(区、集落等)、森林整備委員会、森林組合等	415.4ha	6,268,500

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越						0
当初予算		32,000	32,000	32,000	7,200	7,200	110,400	
補正予算							0	
合計(A)		32,000	32,000	32,000	7,200	7,200	110,400	
Aの財源	森林税	32000	32000	32000	7200	7200	110,400	
	国庫支出金						0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
決算額(B)		31,154	30,885	8,985	6,864	6,269	84,157	
次年度への繰越額(外数)							0	

指標及びその達成状況

成果目標		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
集約化面積	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
	実績値	1,960	2,048	598	458	415	5,479	

目標に対する成果の状況	(達成状況) 集約が効率的かつ迅速に行える箇所から事業を進めたが、実際、所有規模が零細であるなど、労力・時間を要する地域が多く、事業の実施が思うように進まなかった。  (副次的な効果) 里山を集約することによって所有者関係が明らかになり、地域での管理がしやすくなった。
-------------	--

県民会議・地域会議等からの意見	
-----------------	--

3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	地域課題となっている所有規模が零細な里山の整備が進まない。	第3期の事業においては採択要件を見直して実施する。 ・ 事業規模の見直し(10ha以上→0.1ha以上) ・ 実施後要件である森林整備期限の見直し(翌年→最長5年) ・ 所有境界明確化への新たな支援

森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	森林づくり推進支援金	部局	林務部	課・室	森林政策課
		実施期間	H20～	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp
区分	求められる機能に応じた里山等の森林づくりの推進				
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト				
施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・産業づくり 3 多様な森林の整備の推進				

1 事業の概要

内容	地域における住民の意向や実情等、地域固有の森林づくり等の課題に精通している市町村との連携により、きめ細かな森林づくり活動の取組を支援するため、市町村が独自性と創意工夫により事業展開するための経費に対して支援する。
----	--

2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	地域の実情に対応した森林づくり関連施策で、「長野県森林づくり指針」の趣旨に即した次の3つの柱の事業 (1)「みんなの暮らしを守る森林づくり」 (2)「木を活かした力強い産業づくり」 (3)「森林を支える豊かな地域づくり」	市町村	全77市町村で事業を実施	129,894,000 円 [129,894,000円]

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	0
当初予算		130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	650,000	
補正予算		0	0	0	0	0	0	
合計(A)		130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	650,000	
Aの財源	森林税	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	650,000	
	国庫支出金						0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
決算額(B)	130,000	128,429	128,766	129,999	129,894	647,088		
次年度への繰越額(外数)	0	0	0	0	0	0		

指標及びその達成状況

成果目標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
間伐面積(県全体)	目標値 22,000	20,000	19,000	17,000	16,000	94,000	
	実績値 21,484	16,761	15,221	13,634	11,304	78,404	

目標に対する成果の状況	(達成状況) 森林に関する地域の様々な課題に応じ、松くい虫被害対策や景観整備、野生鳥獣被害対策のための緩衝帯整備等、緊急性の高い取組が全市町村で実施され、地域に定着するなど、市町村の評価が高い。 (成果目標について;様々な地域固有の課題に対する取組に共通する成果として県全体の間伐面積を目標に設定。国の制度変更等の影響により、目標の83%にとどまったが、各地域での課題解決は図られている。)  (副次的な効果)
-------------	--

県民会議・地域会議等からの意見	・地域の課題解決にそれぞれの市町村が向き合うことこそが長野県の独自性であり、「森林づくり推進支援金」を継続しつつ、説明責任が果たせるよう改善すべき(県民会議) ・森林づくり推進支援金の「説明責任」問題の改善 ～廃止ないし縮小、「特定補助金」と「財政調整の交付金」～ (地方税制研究会)
-----------------	---

3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	地方税制研究会から、県の超過課税による財源であることから、県民への説明責任を明確化すべきとの指摘があり、使途、達成目標、成果等について、より一層県が説明責任を果たすことが求められている。	・市町村がきめ細やかな対応を行うための財政調整的な性格の支援は不可欠。 ・地域特有の重要課題に対応するための事業として、予算額を現行の1.3億円から0.9億円で縮減し、その事業内容や成果については市町村が説明責任を負うものとする。

# 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

<b>事業名</b>	<b>信州の木活用モデル地域支援事業</b>	<b>部局</b>	林務部	<b>課・室</b>	県産材利用推進室
		<b>実施期間</b>	H25 ~ H29	<b>E-mail</b>	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
<b>区分</b>	間伐材等の利活用による継続的な森林づくりの推進				
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
<b>プロジェクト</b>					
<b>施策の総合的展開</b>					

## 1 事業の概要

<b>内容</b>	地域が主体となり、里山の森林資源を木質バイオマス利用や商店街等の木質化、道の駅等での販売などに活用する先進的なモデル地区を支援することにより、身近な森林資源を地域の活性化やエネルギーの自立につなげ、森林資源の持続的活用を図る。
-----------	---

## 2 事業の実施状況

平成29年度 の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	里山の森林資源を供給から消費まで地域が一体となって様々な用途に利活用する先進的な取組を支援	市町村、公共的団体、林業関係団体、NPO法人等	5件	12,500千円

事業	区 分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考	
		コスト	予算額	前年度繰越					0
当初予算	12,500			12,500	20,000	12,500	175,000	232,500	
補正予算								0	
合計(A)	12,500			12,500	20,000	12,500	175,000	232,500	
Aの財源	森林税		12,500	12,500	20,000	12,500	175,000	232,500	
	国庫支出金							0	
	その他		0	0	0	0	0	0	
決算額(B)		12,185	12,500	18,854	12,472	175,000	231,011		
次年度への繰越額(外数)							0		

### 指標及びその達成状況

成果目標		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
事業実施地域数	目標値	5	5	8	5	7	30	
	実績値	5	5	8	5	7	30	

<b>目標に対する成果の状況</b>	<p>(達成状況) 県産材を利用した大桶や産湯桶、机などの木工製品の製作、空き家や公共スペースの木質化、廃校舎の木工関係での活用の基盤づくりなど、多様な取組へとつながっている。</p> <p>(副次的な効果) 活動や開発品のテレビニュース等での取り上げによる周知や、開発品のウッドデザイン賞受賞といった評価が得られた。(本事業の事例集を作成し、県ホームページへの掲載等を通じて、県産材の新たな利用についての継続的な周知を図っている。)</p>
--------------------	---

<b>県民会議・地域会議等からの意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域材を使った子ども広場や子育て支援施設の木質化、子どもの教育に用いる遊具や玩具に対する支援に活用して欲しい。・公園のベンチやブランコ、学校の机やいすを県産材で作るべき。・木材利用についても森林税を活用すべき。</li> <li>・森林税は林業を勢いあるものにするための呼び水的な働きが求められている。特に子ども達に関わる場所や物に県産材を活用すべき。・地元のスーパーストアやコンビニなど、不特定多数の人間が集まる場所で県産材が使われている状況を作るべき。</li> <li>・間伐等で切り出された木材が地産地消の再生可能エネルギーとして利用されるようにして欲しい。・未利用木材の利活用事業は、県で薪流通の仕組みモデル案を示して積極的に導入できるように検討して欲しい。(全てバブコメから。一部省略等あり)</li> </ul>
------------------------	---

## 3 今後の事業の方向性

<b>今後、事業をどのようにしていきたいか</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	<b>課 題</b>	<b>今後の方向性</b>
	薪などのバイオマス利用や商店街の木質化に係るモデル的な取組支援は、事業規模が小さいこともあり、県全体への広がりとして十分ではない。	子どもの居場所の木質化、玩具や調度品への県産材の利用等、より波及効果が得られる事業を構築、実施していく。

森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	信州フォレストコンダクター活動支援事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	H25 ~ H29	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
区分					
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	2-3-7 農山村産業クラスター形成プロジェクト				
施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 1 林業再生の実現				

1 事業の概要

内容	「信州フォレストコンダクター」(以下、「SFC」という。)が、各地域の林業・木材産業を経営感覚を持ちながら総合的な視野で指揮し、関係者と連携して円滑に活動を展開していくために、県が密接に連携しながら行う活動基盤づくりの取組を支援する。
----	---

2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	SFC地域活動支援 SFC連絡会議	県	10地区活動への支援 連絡会議開催	712,976円

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越						0
当初予算		4,300	4,480	4,581	1,158	1,181	15,700	
補正予算							0	
合計(A)		4,300	4,480	4,581	1,158	1,181	15,700	
Aの財源	森林税	4300	4480	4581	1158	1181	15,700	
	国庫支出金						0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
決算額(B)		4,186	3,935	3,306	817	713	12,957	
次年度への繰越額(外数)							0	

指標及びその達成状況

成果目標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
育成人材数	目標値 育成10人	育成10人	育成10人	支援10地区	支援10地区	育成人数30人	
支援地域数	実績値 育成10人	育成9人	育成11人	支援10地区(676名参加)	支援10地区(428名参加)	育成人数30人	

目標に対する成果の状況	<p>(達成状況)</p> <p>里山を活用した森林づくりから、森林の管理、木材の出荷・利用にいたるまで経営感覚を持ちながら総合的な視野で各地域の林業・木材産業を指揮できる人材として、平成27年度までに30名のSFCを育成。 平成28年度からは県と連携して行う今後の各地域の活動基盤づくりに資する取組を地区毎支援。現在、SFCメンバーが多面的な森林の利活用の推進や県産材の利活用などに取り組んでいる。</p> <p>(副次的な効果)</p> <p>地域活動の現地視察に参加した一般県民に、地域林業への理解を促した。</p>
-------------	---

県民会議・地域会議等からの意見	
-----------------	--

3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	今後の、SFCメンバーの活動の確実な継続、拡大、定着等のため、地域における活動の場の確保、地域での活動への支援等が課題。	里山整備利用地域の認定による活動の場の確保や、同地域での活動に対する支援を行う。



# 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	みんなで支える森林づくり推進事業	部局	林務部	課・室	森林政策課
		実施期間	H20～	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp
区分	里山と人との絆づくりを進める取組の推進				
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト				
施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・産業づくり 3 多様な森林の整備の推進				

## 1 事業の概要

内容	県民等に対し、長野県森林づくり県民税の仕組みや事業内容について周知を図るとともに、森林づくりに対する意識の醸成を図る。また、県民の代表等による第三者機関を設置し、地域ニーズの集約や税活用事業の実施後の成果の検証等を実施する。
----	--

## 2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種広報活用による普及啓発</li> <li>・ラジオ番組等による普及啓発</li> <li>・森林づくり県民税アンケートの実施</li> <li>・県民会議、地域会議の開催</li> </ul>	県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林税リーフレットの作成、配付</li> <li>・ラジオ番組:2局 計10回</li> <li>・地域の情報誌やイベントでのPR</li> <li>・県民会議 延べ7回</li> <li>・地域会議 延べ22回</li> </ul>	6,498,354 円 [6,498,354 円]

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考	
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	
当初予算		9,114	9,308	9,251	9,017	9,070	45,760		
補正予算		-1,912	-1,440	-2,154		0	-5,506		
合計(A)		7,202	7,868	7,097	9,017	9,070	40,254		
Aの財源		森林税						0	
		国庫支出金						0	
		その他	7,202	7,868	7,097	9,017	9,070	40,254	
決算額(B)		6,210	6,173	4,031	5,168	6,498	28,081		
次年度への繰越額(外数)		0	0	0	0	0	0		

### 指標及びその達成状況

成果目標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
森林税の取組で森林への関心が高まった者の割合	目標値	58.8%	→	→	→	70.0%	70.0%
	実績値	—	61.8%	53.8%	49.2%	41.6%	41.6%

目標に対する成果の状況	(達成状況) 森林税全般に関して普及啓発に取り組んできたが、県民の認知度は十分とは言えず、特に森林税の名称は知っていても用途はよく分からないと回答した人が7割を超えている。  (副次的な効果)
-------------	--

県民会議・地域会議等からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「長野県らしい森林づくり」への理解と関心を高める情報の発信を行うこと(県民会議)</li> <li>・森林税の「既得権」化問題の打破のため、チェック機関の改善が必要(地方税制研究会)</li> </ul>
-----------------	--

## 3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50歳を超える方々と、40代以下の方々に明らかな差が見受けられ、若い世代の認知度が低い状況。</li> <li>・引き続き県民会議、地域会議による事業の評価・検証を行うとともに、その機能の強化が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの活用など、より幅広い広報手段を用いて情報発信に努める。特に若年層を意識した効果的な広報に努める。</li> <li>・県民会議、地域会議については多様な分野の意見が反映されるよう改善するとともに、検証機能の一層の強化を図る。</li> </ul>

## 森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	森林(もり)の里親促進事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	H25 ~ H29	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
区分					
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	3-3-3「環境エネルギー自立地域の創造」プロジェクト				
施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力ある良い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進				

### 1 事業の概要

内容	社会経済構造の変化に伴い荒廃した里山や山村集落へ県が仲立ちとなり、企業等の社会貢献活動を誘導し、森林整備の活用と交流を通じた地域活性化を促進する。
----	---

### 2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	・企業誘致活動	県	契約件数3件(累計129件) 関東圏内での里親講座等2回	322,429円

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越						0
当初予算		1,122	1,240	1,240	1,240	1,240	6,082	
補正予算							0	
合計(A)		1,122	1,240	1,240	1,240	1,240	6,082	
Aの財源	森林税	1122	1240	1240	1240	1240	6,082	
	国庫支出金						0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
決算額(B)		475	957	1,035	647	322	3,436	
次年度への繰越額(外数)							0	

#### 指標及びその達成状況

成果目標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
新規契約数(累計)	目標値	100	105	→	→	125	134
	実績値	96	112	122	126	129	129

目標に対する成果の状況	<p>(達成状況) 平成29年度までに累計で129件の契約ができ、ほぼ目標を達成することができた。 里山での森林整備が進んだだけでなく、地域住民と企業等の交流により地域の活性化が図られた。</p> <p>(副次的な効果) 契約企業から取引企業等へ口コミで広がっており、営業企業外からの要望がある。</p>
-------------	--

県民会議・地域会議等からの意見	
-----------------	--

### 3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	受け入れる側である活動主体(里子)の不足により、企業(里親)とのマッチングが困難になりつつある。	里山整備利用地域制度を活用するなど、活動主体(里子)の掘り起しを行い、引き続き企業等とのマッチングを進める。

**森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）**

事業名	地球温暖化防止吸収減対策推進事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
		実施期間	H20～	E-mail	
区分	里山と人との絆づくりを進める取組の促進				
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト				
施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり ,3 多様な森林の整備の促進 ,4 多様な関わりによる森林の適正管理と多面的利用の推進				

**1 事業の概要**

内容	森林(もり)の里親促進事業により整備された森林のCO2吸収量を、長野県が評価することにより、企業等による森林整備を促進する。
----	--

**2 事業の実施状況**

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	森林(もり)の里親企業等の支援により実施した間伐等の森林整備によるCO2の評価・認証を行う	県	2,775.7t-CO2	47,180円 [0円]

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0	0
当初予算		415	417	433	434	471	2,170	
補正予算		0	0	0	0	0	0	
合計(A)		415	417	433	434	471	2,170	
Aの財源	森林税	415	417	433	434	471	2,170	
	国庫支出金						0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
決算額(B)		415	387	344	402	47	1,595	
次年度への繰越額(外数)		0	0	0	0	0	0	

**指標及びその達成状況**

成果目標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
認証CO2吸収量	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
	実績値	5,131	5,019	4,483	3,562	2,776	20,971

目標に対する成果の状況	<p>(達成状況) 民間企業等のCSR活動を「見える化」するため、「森林の里親促進事業」で間伐等を実施した森林のCO2吸収量2,776t-CO2(9件14者)を県が評価・認証した。</p> <p>森林の里親契約の伸びそのものが近年落ちていること、企業の森林の里親活動の動機が、企業イメージの向上から職員やその家族の森林体験へと変化していることなどにより、認証量は減少傾向にある。</p> <p>※認証CO2吸収量の実績は、対象森林の実際の蓄積量等によって大きく左右される。</p> <p>(副次的な効果)</p>
-------------	--

県民会議・地域会議等からの意見	
-----------------	--

**3 今後の事業の方向性**

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	温暖化対策等の観点から、企業の森林づくりへの参画が進んでおり(全国第2位)、引き続き、多様な主体の参画を進めることが必要。	里山整備利用地域制度の活用により、新たな里親契約企業を確保するなど、引き続き、企業・団体等の森林づくりへの参画、認証への働きかけを進める。



森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	地球温暖化防止木材利用普及啓発事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
		実施期間	H24～	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
区分	里山と人との絆づくりを進める取組の促進				
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト					
施策の総合的展開					

1 事業の概要

内容	県産材を使用した住宅や事業所の木質化、木製品等の二酸化炭素固定量を認証する認証証書を県が発行することで、県産材を利用した「環境貢献度」が見える化し、県産材を利用することが地球温暖化防止と地域の健全な森林づくりの推進となることをPRする。
----	--

2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	県産材住宅の施主や店舗等を木質化した企業等に対し県産材利用によるCO2固定量を認証し地球温暖化防止の取組を推進	県	認証量 160 CO2-t (認証件数 6件)	217,427円 [0円]※ ※寄付金利用のため

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越						0
当初予算		499	499	503	552	557	2,610	
補正予算							0	
合計(A)		499	499	503	552	557	2,610	
Aの財源	森林税	499	499	503	552	0	2,053	
	国庫支出金						0	
	その他	0	0	0	0	557	557	
決算額(B)		336	297	401	391	217	1,643	
次年度への繰越額(外数)							0	

指標及びその達成状況

成果目標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
認証CO2固定量	目標値	500	500	500	500	500	2,500 認証量(CO2-t)
	実績値	1,240	1,113	1,211	558	160	4,282 認証量(CO2-t)

目標に対する成果の状況	<p>(達成状況) CO2 固定量認証の取組は、施主や企業の関心も高く、計画を上回る取組が行われ、企業の県産材利用の見える化によって、県産材利用の促進に貢献している。 認証量(CO2-t)の累計は目標を上回っているが、単年度の申請件数は、補助金の減少に伴う大型木造公共施設の建築件数の減少、認証取得によるメリットの少なさ(住宅ローンの金利優遇策等)などにより減少傾向。</p> <p>(副次的な効果) 認証を受けた企業が環境貢献の一環として広報することにより、認証制度や木材利用の普及へつながった。</p>
-------------	---

県民会議・地域会議等からの意見	
-----------------	--

3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	環境貢献に対する企業の関心の低下などにより、申請件数の伸びが減少。	企業に対する制度のPRのほか、より企業が認証に魅力を感じるようなインセンティブ(表彰制度等)を検討し、申請件数の増加を図る。

森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	木育推進事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
		実施期間	H20～H29	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
区分	里山と人との絆づくりを進める取組の促進				
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト					
施策の総合的展開					

1 事業の概要

内容	里山等の身近な森林や森林資源を活用し、子どもから大人まで参加できる学習機会としての木育活動を推進し、森林づくりや県産材利用の意識の高揚等を図る。
----	--

2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	里山等の身近な森林や森林資源を活用し、子どもから大人まで参加できる学習機会としての木育活動に対して支援	市町村、学校、林業者が組織する団体、NPO法人等	37件	8,272,293円 [8,272,293円]

事業コード	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越						0
当初予算		9,020	9,020	9,860	10,236	892	39,028	
補正予算							0	
合計(A)		9,020	9,020	9,860	10,236	892	39,028	
Aの財源	森林税	9,020	9,020	9,860	10,236	892	39,028	
	国庫支出金						0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
決算額(B)		8,427	8,856	8,239	9,650	8,272	43,444	
次年度への繰越額(外数)							0	

指標及びその達成状況

成果目標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
新規事業実施市町村数(累計)	目標値 56	→	→	→	77	77	実施市町村数(累計)
	実績値 57	63	68	72	76	76	実施市町村数(累計)

目標に対する成果の状況	(達成状況) 木育活動が県下の市町村で実施され、学校、PTA、地域などが協働で木育に取り組む自治体の動きが広がった。  (副次的な効果) 活動に参加するのは子どもが主だが、付き添いの大人に対しても木育体験の場を提供できた。
-------------	---

県民会議・地域会議等からの意見	・地域の大切な里山を地域住民が一体となって守り育てる活動に地域の学校として参加しており、木育推進事業を活用して普段経験できない森林での学習活動を行っている。現行の木育推進事業と同様の事業が実施できるようお願いしたい。 ・木育の充実や公共施設、病院、介護施設などでの県産材利用を支援してほしい。
-----------------	---

3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	感受性豊かな子どもに、自らの手で地域の木材を使って木製品を作り上げる体験と喜びを提供することが引き続き必要である。	子どもが木、木製品に触れる機会を作るために、木工体験活動や子どもが集まる施設の県産材利用に対する支援を実施していく。

森林づくり県民税活用事業 検証・評価シート（平成29年度事業分）

事業名	里山活用推進リーダー育成事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課
		実施期間	H27～H29	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
区分					
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)					
プロジェクト	2 農山村産業クラスター形成プロジェクト 3 環境・エネルギー自立地域の創造プロジェクト				
施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進				

1 事業の概要

内容	林業技術等を有する林研グループ等が地域に働きかけ、技術指導や安全教育を実施する中で、地域リーダーを育成し、地域自らが里山資源の利活用の推進と継続的に活用できる地域づくりの推進を図る。
----	---

2 事業の実施状況

平成29年度の実施状況	事業内容	事業主体	事業実績	29年度決算額 [うち森林税活用額]
	地域リーダーの育成や里山整備のランドデザインの作成に要する活動に対して助成	区、集落等	12地区	4,357,000

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
	予算額	前年度繰越						0
当初予算				3,000	3,000	6,000	12,000	
補正予算							0	
合計(A)		0	0	3,000	3,000	6,000	12,000	
Aの財源	森林税			3000	3000	6000	12,000	
	国庫支出金						0	
	その他	0	0	0	0	0	0	
決算額(B)				2,927	1,320	4,357	8,604	
次年度への繰越額(外数)							0	

指標及びその達成状況

成果目標		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計(累計)	備考
事業実施地域数	目標値			10地区	10地区	10地区	30地区	
	実績値			11地区	5地区	12地区	27地区	

目標に対する成果の状況	(達成状況) 県内各地域の里山を利活用しようとする地区のけん引役となるリーダーの育成を、計画に対して概ね目標のとおり達成できた。 事業を実施した地域においては、自立的な里山利活用の取組が実践されている。 (副次的な効果)
-------------	---

県民会議・地域会議等からの意見	
-----------------	--

3 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
		第3期の事業では、より広く自立的な里山の利活用の取組を推進するため、里山整備利用地域の地域リーダーや、森林の整備・利活用に携る人材の育成を新たに実施する。